

新たな葬祭ディレクターが誕生しました

1級葬祭ディレクター合格者の声



現在葬儀をめぐる環境は、厳しいものがあります。社会環境の変化により葬祭ディレクターに必要とされる知識や仕事はさらに専門性を増してきていると感じます。資格取得は入社当時の目標でしたが、今後は葬祭ディレクターとして社会的責任を負うことになり、また社会的要請に応えなければなりません。ひとつひとつの葬儀をふたつとない葬儀と考え遺族の心を大切に心に残る葬儀となるよう努力してまいります。北エリアマネージャー 岩井 淳

この度、一級ディレクター試験を受けさせて頂き、合格致しました。この試験に合格することができたのは先輩方からの熱い指導があってこそのもので、それがこの結果につながったのだと思います。お客様に信頼されるディレクターとして精進して参ります。北エリアマネージャー 小野 宏樹



この度、1級葬祭ディレクター試験を受けさせて頂き、合格する事が出来ました。受験するにあたり、改めてご葬儀・ご遺族様への接し方についての勉強をする機会を頂く事が出来ました。ご遺族様にとって、「心の拠り所」としての立場で居られる様に、日々精進して参ります。第1営業部主任 三井 範寿

2級葬祭ディレクター合格者の声



葬祭ディレクター2級の資格は、ひとえに指導をして下さった諸先輩方、同僚の皆さんの協力もあって合格する事が出来たのだと思います。葬儀社が提供するサービスは、近頃多くのメディアでも取り上げられ、それに伴いお客様の評価も益々厳しくなっている事も実感しております。お客様に満足して頂けるようなお葬儀を提供できるよう今後も努力して参ります。太白清月記 要害 典子

葬祭ディレクター2級を受験するにあたり、日々勉強に励み、今までの経験を出しきろうと心に決めて臨みました。結果合格する事が出来、大変嬉しい気持ちと、身が引き締まる思いで一杯です。これからは、今まで以上に責任を持ち、沢山の知識を身に付けて、お客様のお気持ちを大切に考え、お客様のご希望する葬儀をお手伝いさせて頂きたいと思っております。東清月記 古積 美紀



葬祭ディレクターとは？

葬祭業界で働く上での知識や技能のレベルを認定する資格です。この資格が無いと葬祭業に従事することができないというものではありませんが、一定のレベル以上のお世話が出来るということを証明する資格となります。受験するためには知識や技能以外に定められた年数以上の実務経験が必要です。清月記では、知識と技能だけでなく、お客様へのおもてなしの心を持つ葬祭ディレクターを育成することに力を入れています。

当社の葬祭ディレクター

1級葬祭ディレクター

菅原 裕典(代表取締役)、鎌田修一(専務取締役)、大本 茂(常務取締役)、西村 恒吉、相澤 充央、越前 善晋、新貝 富男、角地了、千葉 忠典、鈴木 龍介、浅沼浩規、阿部政隆、長谷川一博、星 栄一郎、笹原 由紀夫、小野 宏樹、岩井 淳、三井 範寿

2級葬祭ディレクター

佐藤 昇、中島 敏男、古積 美紀、要害 典子、佐々木 久美子、大塚 映里



NEWS 2010 12月号



今月のトピックス

- SMI 大運動会準優勝 ● ゆめじゆく 15期生修了式
- 葬祭ディレクター試験 ● 夢ストリート取材
- 講演・セミナー報告
- 若林斎場清月記 25年分のありがとうフェア報告

■ 清月記ニュース事務局 ご意見・ご感想はこちらまで

〒983-0035 仙台市宮城野区区の出町2-5-4

TEL:022-782-5750 株式会社清月記本社内

11月3日、第1回SMIモチベーションフェスティバル大運動会が開催されました。宮城県内の多数の企業が参加し、第1回目の開催にも関わらず大いに盛り上がりました。清月記では若手を中心に、若さと体力に自信のあるメンバーが集められ次第すぐに早朝練習を行うなど、気合い十分で臨みました。当日は天候にも恵まれ、大人も子供も混ざって楽しむことのできる運動会となりました。清月記では事前にも練習を重ね、メンバーの息を合わせた「大縄跳び」で2位、足の速さで選ばれたメンバーで挑んだリレーでは2位に大差をつけての1位、と好結果を残し、体力部門をみごと1位で通過しました。しかし最後の〇×クイズで逆転を許し、わずかな差で惜しくも準優勝という結果に終わりました。

しかし、この大運動会への参加はメンバーでない社員の協力や応援があってこそで、会社全体のチームワークが強化されたように思います。お葬儀も、お客様と心を重ねて、スタッフのチームワークがあっちはじめてお客様に満足いただけるものです。このチームワークをお客様のため、地域の皆様のために活かしていきます。



心を重ねて大縄跳び
社長お手製の
おいしい焼きそば



SMIモチベーションフェスティバル 大運動会 準優勝！！



普段の業務では味わえない喜びをメンバーと分かち合えたことが嬉しいです。来年は優勝目指します！
第一営業部 鎌田 雄生



会館事業部 角地了
参加企業の皆様にも感謝



想いをつなぐ・リレーは第1位！

仙台放送 “夢ストリート” の取材を受けました

(11月27日17:25～ 放映)



11月19日、仙台放送「夢ストリート」の取材がありました。日興コーディアル証券株式会社仙台支店様のご提供のこの番組は、宮城県内の企業をとりあげ、企業の姿勢を描く番組です。社長のインタビューを中心に、社内の各部署、会館の様子を取材して頂きました。たくさんの方に清月記を知っていただく良い機会であり、それに恥じない企業として日々努力をしまりたいと思っております。

講演・セミナー



11月16日、パレス宮城野で行われた宮城県年金受給者協会・福祉講座にて、当社の代表取締役 菅原 裕典が講師に招かれ「現代の葬儀事情」というテーマで講演を行いました。お配りした資料などを参加者の皆さんが熱心にご覧になっていた姿が印象的で、お葬儀や仏事に関する関心の高さがうかがえました。

11月18日、北高森集会所にて、当社の角地エリアマネージャーが葬儀に関するセミナーの講師に招かれ、講演を行いました。「とても分かりやすく丁寧で勉強になることばかりでした」とのお褒めの言葉を頂きました。清月記では、地域の皆様のため、葬儀・仏事に関する講演依頼を承っております。どうぞご相談ください。



10月31日、仙台若林斎場清月記にて清月記25年分のありがとうフェアを開催しました。小雨が降る中、たくさんの方にご来場頂き、誠にありがとうございました。普段とは違う形でお客様と触れ合えたことに、社員一同心から感謝いたします。

仙台若林斎場 清月記 25年分のありがとうフェア

当日は各コーナーともお客様が絶えず、数珠作成や喫茶を楽しみながら相談をしたり、セミナーを聞くことができるというところも好評をいただき、イベントを大成功で終えることができました。今後のイベントでも皆様のご来場をお待ちしております。



ゆめじゆくに参加し、当初は理解が出来ませんでしたが、倉林チーフより理解が出来なくとも良いです、の一言で大変助かりました。参加して何度でも「言い続ける」事の大切さを改めて実感致しました。



新貝 富男

この話をいただいたときは、この歳になっていさらと言う考えがありました。しかし、『人生はこれから』と言う言葉に発奮させられ、夢(目標)を持つことが出来ました。このゆめじゆく、30年前に出会ってれば、また違った人生を歩んでいたかも知れません。



鈴木 龍介

第15期生としてゆめじゆくに参加させて頂き、行動・考え方などが少しずつ変わってゆき、大変勉強になりました。ゆめじゆくで学んだように目標を持ちながら、学んだことをこれからの自分の人生に役立てて行きます。



渡邊 優介

ゆめじゆく 15期生 修了式

ゆめじゆくに参加し、自分の中で仕事に対する意識が大きく変わりました。プライベートの充実にも繋がりが、自分の将来に自分が期待し、わくわくしています。また、自分に自信を持ち、今後も仕事・私生活を楽しくしていきたいです。



阿部 若菜

ゆめ塾に参加させていただいた事で仕事は勿論ですがプライベートでも大分変化がありました。回数を重ねる事に変化が出てきて、15期生6名と共に毎週本当に良い時間を過ごしました。自分の将来を真剣に考え今後の人生に活用し夢を実現させていきたいと思っております。



池田 和子

今回、ゆめじゆくを受講させて頂き、段々と考え方に変化があり、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。人生の目標を持つことができたことに大変感謝しております。今後は、その目標を実現すべく、学んだことを活かして参ります。



若生 修二

25th Anniversary おかげさまで創業25周年